

平成21年度主要施策等一覧

平成21年2月

(◎=新規 ☆=拡大)

(元気=元気づくりプログラム)

A【まちづくり 5つのテーマ】

1 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

- ◎① 地上デジタル放送機器整備事業費 6,000千円
市内小・中学校におけるデジタル放送受信機器の整備
・平成21年度 中学校14校（22年度小学校を予定）
・内容：地上デジタル放送受信アンテナ等設置工事、デジタルチューナー設置
- ② 校舎等の整備 47,500千円
・グラウンド法面擁壁改修事業（◎緑小） 3,500千円
・屋内運動場屋根改修事業（◎高島小、◎奥沢小、朝里小、◎長橋中、◎西陵中、◎朝里中）
44,000千円
- ◎③ 長橋中学校プール上屋シート更新事業費 3,000千円
プール上屋シートの更新
- ☆④ 情報教育等設備整備費 5,362千円
教育用パーソナルコンピュータの更新（平成21年度、22年度の2年間で中学校分を更新）
平成21年度更新分 総額45,900千円（平成27年度まで債務負担設定）
・パソコン 教師用7台、生徒用231台
・その他 プリンタ、ソフトウェアほか購入
- ☆⑤ 幼稚園就園奨励費補助金 98,000千円
保護者の所得状況に応じ、保育料、入園料を減免する幼稚園に補助し、保護者負担を軽減
・変更点：①補助単価の引き上げ ②第2子以降の補助割合を拡大
- ⑥ 総合博物館収蔵車両等補修事業費 1,073千円
腐食、破損、塗装の剥離が進行している展示鉄道車両等を補修
・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用
平成21年度補修予定車両：郵便車、気動車(食堂車)、ディーゼル機関車(2台) ほか

- ⑦ **重要文化財旧手宮鉄道施設修復事業費** 97,345千円
 重要文化財旧手宮鉄道施設（機関車庫3号）の保存修理（平成18年度事業着手、平成21年度完工）
- ◎⑧ **アイアンホース百年祭実行委員会補助金** 1,000千円
 総合博物館所有の蒸気機関車「アイアンホース号」の誕生百年を記念として、北海道、日本の近代化とアメリカとの関わりを再認識する事業などを実施
 ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用
 ・主な事業 アイアンホース百年記念式典、「(仮称)北海道の近代化とアメリカ展」開催ほか
- ⑨ **特別展開催経費（文学館）** 200千円
 「蟹工船」の時代ー日本プロレタリア文学史展
 ・開催期間：平成21年7月4日～8月9日
- ⑩ **特別展開催経費（美術館）** 3,800千円
 1) 市立小樽美術館開館30年記念特別展：「画家たちのパリ展」
 ・開催期間：平成21年5月23日～7月20日
 2) 「女流三作家のまなざし」
 ・開催期間：平成21年7月25日～9月22日
- ◎⑪ **社会体育施設等の整備** 5,000千円
 ・小樽公園弓道場管理棟屋根葺替工事 2,400千円
 ・小樽入船公園庭球場運営室屋根葺替工事 2,600千円
- ☆⑫ **放課後児童健全育成事業費** 84,241千円
 放課後児童クラブの運営
 ・従前から土曜日に開設している5校の他、新たに5校で4、5月の2か月試行開設

2 とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ◎① **次世代育成支援行動計画策定経費** 100千円
 子育て支援を総合的に推進するために策定した「次世代育成支援行動計画」の前期計画（計画期間平成17年度～21年度）が終了することから、平成22年度～26年度の後期計画を策定
- ☆② **特別保育事業** 7,684千円
 平成21年4月から移転する真栄保育所において、産休明け保育、延長保育、一時的保育事業を実施 ※予算額は、真栄保育所における拡大分のみ記載

☆③ 妊婦・乳幼児健康診査費

72,023千円

妊娠に伴う経済的負担の軽減を図るため、健康診査を5回から14回に拡大。また、対象医療機関を市外にも拡大

◎④ 歯周疾患対策事業費

302千円

高齢者の残存歯数とQOL（生活の質）・健康状態には関連があることから、歯の早期喪失を予防することにより市民の健康を維持

- ・対象 満40歳、50歳、60歳、70歳の市民（市民負担 570円）
- ・内容 ①歯周疾患検診 ②ブラッシング指導 ③プロフェッショナルトウースクリーニング
- ・実施形態 毎週火曜日予約制

◎⑤ 小樽健康づくりウォーキング推進事業費

200千円

中高齢者の健康づくりには、食事・運動を中心とした生活習慣の改善が必要であることから、本市の自然を活用した健康づくり事業を推進

- ・内容 市内のウォーキングマップを作成し、各種健康づくり事業に活用

元気◎⑥ こんにちは赤ちゃん事業費

3,981千円

生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、育児などの相談に応じるほか、子育てに関する情報を提供

☆⑦ 介護保険事業

・平成21年度は3年に1度の保険料改定のため、保険給付費・地域支援事業費等について21年度～23年度分を推計し、保険料を積算

ポイント

- ①介護保険料軽減策として、介護給付費準備基金から221,757千円を繰入
- ②介護報酬改定による保険料の上昇抑制のため、国庫補助による介護従事者処遇改善臨時特例基金から60,837千円を繰入
- ③地域支援事業費の増 任意事業「介護用品助成事業」及び「独居高齢者等給食サービス事業」を拡大
- ・介護用品助成事業 31,200千円
ア 要介護4・5を要介護3～5へ拡大 イ 本人のみにも対象を拡大
- ・独居高齢者等給食サービス事業 3,830千円
地域交流会を実施し、配食ボランティアの確保と利用者増による事業の拡大を行う。
- ・介護予防・地域支え合い事業（既存事業を組み合わせ実施）
地域に出向き、介護予防・認知症サポーター・給食サービスについて、体験的プログラムを通じて楽しみながら学んでもらう。

☆⑧	医療情報システム整備事業費	300,000千円
	小樽病院及び第二病院の医療情報システムの整備	
	平成20年度 医事システムの更新 他	
	平成21年度 基本オーダーリングシステムの導入 他	
	平成23年度 フルオーダーリングシステム、電子カルテの導入 他	

3 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

①	配水管整備及び改良工事	861,300千円
	・配水管整備工事 市内一円配水管布設 L=5,920m	413,200千円
	・改良工事 老朽施設等更新改良工事 ほか	448,100千円
	奥沢送水管更新等、豊倉浄水場施設・設備更新ほか	
②	汚水管整備及び処理場・ポンプ場の更新	1,648,000千円
	・汚水管整備	213,000千円
	銭函地区布設、マンホール蓋改築更新ほか	
	・処理場の更新（中央、銭函処理場）	1,358,000千円
	汚泥処理棟 機械・電気設備、建築・建築設備 ほか	
	平成21年9月中央処理場新焼却炉の運転開始予定	
	・ポンプ場の更新	77,000千円
	勝納中継ポンプ場沈砂池設備更新 ほか	
☆③	臨時市道整備事業費	400,000千円
	市民生活の安全及び快適な環境の確保並びに円滑な交通を確保するため、道路改良を実施	
	・平成21年度整備予定 33路線	
④	公営住宅建替事業費	398,117千円
	オタモイ地区の老朽化した市営住宅を建て替え、新たに3号棟を建設	
	・建設工事：オタモイ3号棟 45戸 平成21・22年度	
	・本体工事費：742,500千円（371,250千円×2か年）	
⑤	市営住宅改善事業費	74,000千円
	「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅を計画的に再生	
	・地上デジタル放送移行対策工事、住宅用火災警報器設置、ガス配管設備改修	
⑥	市営住宅施設整備費	117,000千円
	「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、老朽化した市営住宅を改修	
	・塩谷E、塩谷C2、新光F53-2 外壁改修 ほか	

元気◎⑦ ふるさとまちづくり協働事業推進経費 **3,070千円**

住民の創意工夫に溢れる主体的で個性豊かなふるさとづくり活動を応援し、協働によるまちづくりを進めるため、本市の活性化に寄与する団体のソフト・ハード事業に助成

- ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用
- ・助成を希望するまちづくり団体は事業計画書を提出
- ・助成先の選定は、審査委員会を設け決定
- ・助成額 1件につき30万円を上限

※「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」に係る21年度からの改善内容

- ・小樽市公会堂の「能楽堂」の老朽化が進んでいることから、寄附対象事業に「能楽堂の保全及び整備」に係る事業を追加
- ・寄附者の利便性の向上を図るため、インターネットを利用したクレジットカードで納付できる仕組みを整備

◎⑧ 都市計画道路将来交通量推計調査費 **2,600千円**

北海道新幹線札幌延伸を見据え、都市計画道路等の将来交通量を推計

☆⑨ 消防署朝里出張所建設事業費 **227,000千円**

老朽化の著しい朝里出張所（昭和41年建築）の建て替え（朝里共同住宅跡地）

○建物概要等

- ・敷地面積：750㎡程度
- ・建物規模：鉄筋コンクリート造2階建て 延べ577.5㎡
- ・配置車両：タンク車、ポンプ車、救急自動車
- ・建築主体工事、外構工事、庁舎・防火水槽解体、初度調弁費 ほか

◎⑩ 多重債務特別相談業務委託料 **324千円**

深刻な社会問題となっている多重債務者への対策として、「多重債務特別相談窓口」を新たに開設

- ・相談場所 小樽市消費者センター
- ・相談日時 毎週木曜日 10:00～16:00

4 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

◎① 『小樽で買物』キャンペーンセール助成事業費 **20,000千円**

定額給付金の支給に合わせて、商店街等が取り組む消費者の購買意欲を増進させる事業に対し助成することにより地域経済の活性化を促進

- ・対象経費 定額給付金の支給開始日から3か月以内に行う売り出しや販売促進活動に要する経費
- ・補助率 9/10
- ・上限額 商店街等の構成員数により、300千円、500千円、700千円、1,000千円の4区分

元気◎② 商業起業者支援事業費**630千円**

中小企業大学旭川校が主催する研修のうち、起業者が経営の安定に資すると認められる研修を受講する際の経費及び受講後の店舗家賃の一部を助成

- ・研修受講助成 助成対象経費の2/3以内 上限額30,000円/1人
- ・店舗家賃助成 助成対象経費の2/3以内 上限額50,000円/月
期間は1年を限度とし、対象者は1名とする。

元気☆③ 地域経済交流促進事業費補助金**400千円**

隣接する札幌市において、本市で生産される水産加工品、菓子、酒類など地場製品のPRと観光情報を発信するため、展示即売会・観光PR展を開催

平成20年度 1か所 → 平成21年度 3か所に拡大

元気◎④ 札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金**1,000千円**

平成20年6月に国の同意を受けた「札幌臨海小樽・石狩地域の基本計画」に基づき、指定4業種に関して企業立地セミナーの開催やPRツールを作成し企業立地を促進

- ・指定4業種 ①食料品関連産業 ②物流関連産業 ③エネルギー関連産業
④リサイクル関連産業
- ・協議会構成 北海道、小樽市、石狩市、石狩湾新港管理組合、石狩開発(株)

☆⑤ 中小企業設備近代化合理化資金貸付金**753,873千円**

中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進し、その振興に必要な資金を融資

- ・変更点 設備総合資金：設備等近代化資金と店舗等改善資金を統合し、設備投資に伴う土地購入費を融資の対象とする。また、融資期間別に金利を設定し、変動金利との選択を可能とした。

☆⑥ 中小企業経営安定健全化資金貸付金**965,727千円**

中小企業者等の経営の安定と健全化のために必要な資金を融資

- ・変更点 マルタル資金：融資期間別に金利を設定し、変動金利との選択を可能とした。
特に、利用の多い融資期間5年未満の金利をこれまでより低く設定（平成21年1月から実施）

元気◎⑦ 観光客誘致対策費（札幌圏情報発信事業）**300千円**

本市のイベントや飲食店を紹介した小冊子を年2回程度作成（各回300部を予定）し、札幌圏などの企業に対し配布することにより、観光入込客数の増加を促進

元気☆⑧ 宣伝物製作等経費**3,800千円**

観光ポスター、外国語マップ等を作成し、キャンペーンやイベントでの配布を通じ、小樽観光をPR

- ・平成21年度 観光情報誌「きらっと小樽」増刷

元気◎⑨ 小樽ショートフィルムセッション2009開催補助金

1,000千円

小樽における撮影の協力体制や優れたロケーションを広く発信するとともに、FC活動の市民周知や啓発、FC活動による地域の活性化を目的としてショートフィルムコンテストを開催

元気◎⑩ 地域魅力度アップ観光イベント創出事業費

1,000千円

小樽観光活性化のため、滞在時間の延長や宿泊客への時間消費型観光メニューの提供などに寄与し、観光事業者とのタイアップが可能で継続性の期待できる事業を広く公募し、選定された案件に事業費の一部を助成

- ・助成額 予算の範囲内で事業費の1/2以内 上限 1件1,000千円

元気◎⑪ 小樽ガラスフェア実行委員会補助金

500千円

「ガラスの街・小樽」に全道からガラス関係者が集い、ガラス工芸品の魅力と伝統的技術のPRを目的として「小樽ガラスフェア」を開催

⑫ 小樽運河浄化対策事業費

72,000千円

港湾公害防止対策事業（小樽運河（南側）のしゅんせつ）

- ・平成19年度：しゅんせつ工：V=1,020m³、調査・設計一式
- ・平成20年度：しゅんせつ工：V=1,710m³
- ・平成21年度：しゅんせつ工：V=2,400m³

⑬ 国直轄工事費負担金（北防波堤改良事業費）

45,000千円

- ・平成19年度まで：調査・設計、漁業補償、被覆工（L=32m／港外、L=279.5m／港内）
- ・平成20年度：根固工（L=130m／港外）
- ・平成21年度：根固工（L=170m／港外）

※国直轄事業 平成21年度全体事業費300,000千円

⑭ 合同庁舎周辺整備事業費

35,000千円

合同庁舎建替えに併せ、円滑で安全な車両や歩行者の交通を確保するため、臨港道路を整備

- ・平成20年度：測量試験費、合同庁舎前通り線 排水工（縦断管渠敷設 L=294m）
- ・平成21年度：合同庁舎前通り線 道路改良（海側半断面 L=211m）

☆⑮ 姉妹都市提携委員会交付金

1,200千円

ナホトカ市（ロシア連邦）及びダニーデン市（ニュージーランド）との姉妹都市交流のほか、平成21年度はソウル特別市江西区（韓国）との交流を拡大

- ・少年少女使節団派遣事業 平成21年8月上旬予定

5 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

◎① 東小樽～銭函間海岸クリーン作戦実施事業費

200千円

漂着物やごみの散乱が目立つ東小樽～銭函間の16か所において、漁業協同組合、小樽土木現業所、JR北海道、ボランティア団体と市が協力し、海岸清掃を実施

- ・実施場所 東小樽海岸、朝里海岸～張碓トンネル、張碓トンネル～恵比須島周辺、恵比須島周辺～銭函海岸

◎② 北海道千年の森プロジェクト植樹祭補助金

500千円

植樹活動を通じ地球環境の保全運動を進めている「北海道千年の森プロジェクト」が実施する植樹祭等へ支援

- ・講演会：平成21年6月27日 日専連ビル（講師）横浜国立大名誉教授 宮脇 昭氏
- ・植樹祭：平成21年6月28日 朝里ダム湖畔園地内

◎③ 廃棄物最終処分場第2期拡張整備事業費

394,348千円

（一般会計 181,026千円、特別会計 213,322千円）

平成12年7月に供用開始した廃棄物最終処分場第1期埋立地（容量＝811千 m^3 ）が近年中に計画容量に達する見込みであることから、第2期拡張工事を施工

- ・平成19年度から平成21年度までの継続費事業の最終年度
- ・面積＝約29千 m^2 、容量＝約130千 m^3

☆④ ごみ収集運搬委託料、資源物分別収集事業

357,171千円

（ごみ収集運搬委託料 202,000千円、資源物分別収集事業 155,171千円）

ごみ収集委託に引き続き、平成21年度から資源物分別収集の全部を委託することにより、ごみ・資源物分別収集を完全委託化

冬期収集困難地区対応強化路線 既存59地区72路線

- ・平成21年度5地区5路線を新たに実施

（所要額：ごみ収集452千円、資源物収集378千円）

◎⑤ 集団資源回収事業費

14,200千円

町内会等の団体が実施する集団資源回収活動に対し、奨励金を交付

※奨励金のキロ単価を減額

- ・回収団体奨励金：平成21年7月実施分から4円/kg→3円/kgへ減額

（影響額：1,930千円）

- ・回収業者助成金は平成20年度をもって廃止

（影響額：4,970千円）

B【元気づくりプログラム】

（「元気づくりプログラム」の体系は、基本計画（案）に基づいた。また、〈再掲〉と記載した事業の内容については、「まちづくり5つのテーマ」に記載した。）

戦略1)「情報発信の強化」による元気づくり

- | | |
|---|---------|
| ◎① ホームページリニューアル事業費
デザイン性や利用しやすさの向上を図るとともに、外国語（英語、中国語、韓国語）に対応するなどコンテンツを充実 | 4,361千円 |
| ◎② 観光客誘致対策費（札幌圏情報発信事業）〈再掲〉 | 300千円 |
| ☆③ 宣伝物製作等経費〈再掲〉 | 3,800千円 |

戦略2)「観光波及効果の拡大」による元気づくり

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ◎① 小樽ショートフィルムセッション2009開催補助金〈再掲〉 | 1,000千円 |
| ◎② 地域魅力度アップ観光イベント創出事業費〈再掲〉 | 1,000千円 |

戦略3)「産業活動の活性化」による元気づくり

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ◎① 小樽ガラスフェア実行委員会補助金〈再掲〉 | 500千円 |
| ☆② 地域経済交流促進事業費補助金〈再掲〉 | 400千円 |
| ◎③ 札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金〈再掲〉 | 1,000千円 |

戦略4)「人のふれあい促進」による元気づくり

- ◎① こんにちは赤ちゃん事業費〈再掲〉 3,981千円
- ◎② 商業起業者支援事業費〈再掲〉 630千円
- ◎③ ふるさとまちづくり協働事業推進経費〈再掲〉 3,070千円
- ④ 移住促進事業経費 2,000千円

団塊世代などを対象に小樽市への移住を促進するため、専用ホームページによる情報提供や相談窓口で問い合わせに回答するほか、首都圏などで開催されるイベントに移住相談コーナーを設置するなど、PR活動を実施

また、民間事業者等で構成する「おたる移住・交流推進事業研究会」と共同して移住PR活動を実施するとともに、移住ビジネスの創出に向けての調査研究を推進

- ・平成17年度（7月～3月）：相談59件、移住決定5件11人
- ・平成18年度（4月～3月）：相談47件、移住決定8件19人
- ・平成19年度（4月～3月）：相談25件、移住決定7件20人
- ・平成20年度（4月～1月）：相談38件、移住決定8件15人

C【その他の施策】

- ◎① 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行経費 50,000千円

平成21年9月10日に任期満了する衆議院議員総選挙及び同時に執行される最高裁判所裁判官国民審査に要する経費

- ◎② 自治基本条例制定検討事業経費 260千円

自治基本条例制定に向け、庁内研究会において、他都市の事例研究や外部講師による勉強会などを開催し、基本条例の必要性やあり方などを検討

- ☆③ 情報化推進事業費 18,516千円

機器やシステムの効率的な運用、インターネット経由サービスへの転換、機器やソフトウェアの保守期限の順守、セキュリティ対策の強化を図り、庁内LANシステムを総合的に再構築